

二松学舎大学人文学会 第124回大会

【日時】2022年7月9日(土) 12:50開会(12:30開場)

【会場】二松学舎大学 1号館2階 201教室、202教室

【開催方式】対面+オンライン(Webex) ※

《参加費無料・事前申し込み不要》

【研究発表】 13:00～15:10

第一会場
(201教室)

程顥の「性」論 —仏教とのかかわりを導きとして—

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士後期課程1年 大森 幹太

裴駰と呉越史 —范蠡への注釈を視座として—

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士前期課程1年 三木 啓介

春秋三伝における災異観

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士後期課程3年 陳 鵬飛

近代における小説観 —日中両国の小説認識の形成—

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士後期課程3年 石 高原

第二会場
(202教室)

中上健次の幼少期体験と「路地」～中上健次『一番はじめの出来事』論～

教員・講師人材派遣会社株式会社コスモ・学習塾トライプラス浅草校 富田陽一郎

井上哲次郎講述「支那哲学史」に見る明治期中国哲学研究の一端

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士後期課程2年 鈴置 拓也

「是」存在文の本質と文の成立条件について

北京大学中国語文学系漢語文字学専攻博士後期課程 喜島 千晴

留学中の末松謙澄の活動に見られる近代的な漢学へのアプローチ

二松学舎大学文学研究科中国学専攻博士後期課程3年 胡 加貝

【講演】 15:30～16:10 ※講演のオンライン参加は会員限定

論文とエッセイのあいだを綴る

二松学舎大学文学部准教授 荒井 裕樹

◆発表要旨、オンラインでの参加方法については、人文学会ホームページ(右記QRコード)の「二松学舎大学人文学会第124回大会開催のご案内」をご覧ください。



【お問い合わせ先】二松学舎大学人文学会事務局 〒102-8336 千代田区三番町6-16

TEL:03-5962-3303 / E-mail:jinbun@nishogakusha-u.ac.jp